

6. 端材について

現場で発生したモイス廃材について

モイスを廃棄する場合は、「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」に該当し安定型産業廃棄物として処分できます。またモイスの主成分は、天然素材で構成され、製造過程でも接着剤などの化学物質は使用しておりません。現場で発生した端材は、調湿袋に詰めて床下に設置することにより、湿気や臭い取りとして有効に活用できます。

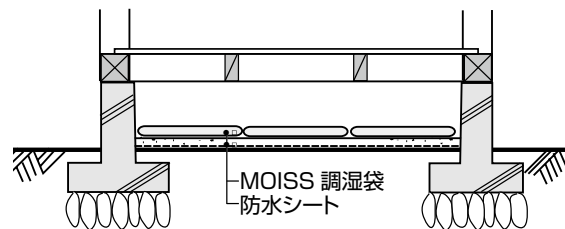


床下・モデル施工試験体



床下への調湿袋の設置の様子

※モイス以外は、調湿袋に入れないでください。



MOISS調湿袋・設置要領

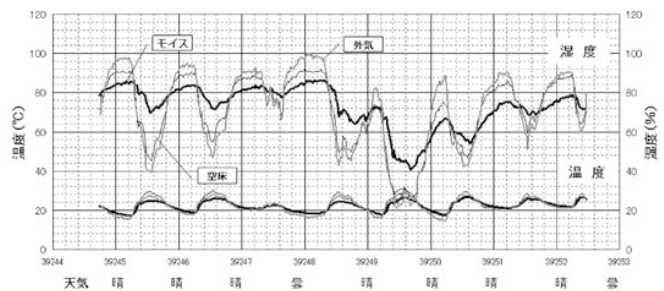
住宅床下への設置イメージ図

現場端材を有効活用する「モイス調湿袋」

モデル施工における調湿効果について

以下に示すのはモイス調湿袋の効果を実験的に確かめたものです。右のグラフが示すように床下の湿度は外気温の下がる夜間に高くなり、逆に気温の高くなる日中に低くなる傾向があります。モイスは湿度が高くなる夜間には吸湿し、日中や晴れた日の湿度が低くなった時には放出して床下の湿度を均一化しようとする調湿効果が確認されています。

調湿袋の温湿度の推移グラフ



○解説:太いラインがモイスの効果を示す。湿度分布では、湿度を均一化する方向に働き、空床と比べ最高湿度では5%、最低湿度では18%の差が生じた。

※上記結果は、測定値であり、保証値ではありません。

